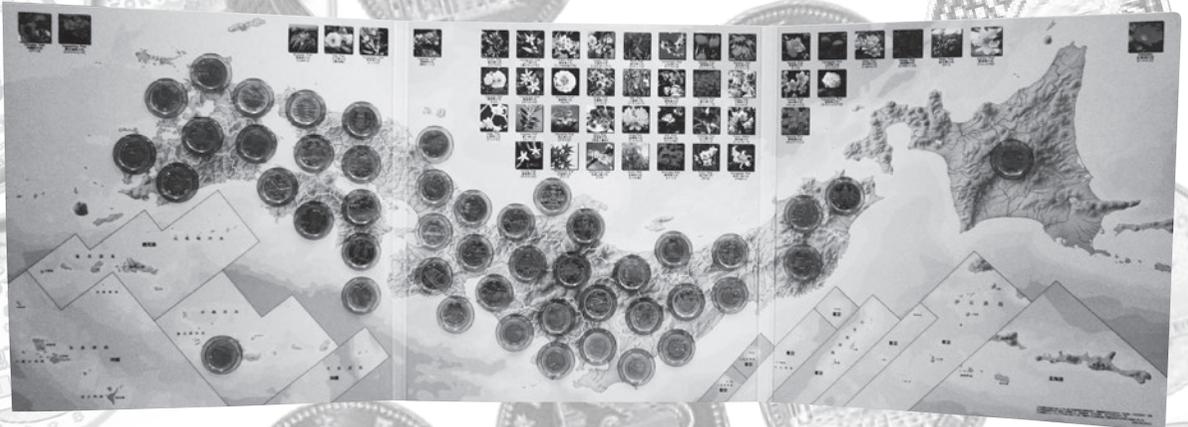


特集

昭和39年東京オリンピックから発行開始

歴史とともに歩む 記念貨幣の魅力



地方自治法施行60周年記念500円バイカラー・クラッド貨幣収納ケース

昭和39年の東京オリンピックで初めて発行された日本の記念貨幣。56年を経た2020年に東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されることが決まり、再び記念貨幣の発行が予定されている。歴史とともに歩んできた記念貨幣の魅力を紹介する。

取材・文：向山勇

リオ2016から東京2020へ開催引継

2020年東京オリンピック・パラリンピックでも記念貨幣を複数種類発行へ

昭和39年には、1,000円貨幣と100円貨幣を発行

日本で記念貨幣が誕生したのは昭和39年でした。東京オリンピックの開催を記念して発行されたのが初めてです。素材は銀合金で額面価格は1,000円と100円の二種類。それぞれ1,500万枚、8,000万枚が発行されました。

1,000円貨幣の図柄は造幣局が作成し、表面には富士山と桜、裏面には桜とオリンピックシンボルマークがデザインされたものとなりました。

一方、100円貨幣の図柄は公募され3万512点の応募の中から、神戸市の女性の作品で、表面には聖火台とオリンピックシンボルマーク、裏面に

は太陽に算用数字の100を重ねたデザインに、製造年銘が算用数字で記されたものが選ばれました。

それまでに製造された貨幣はすべて漢数字の製造年銘でしたので、この記念貨幣が算用数字の製造年銘を使用した初めての貨幣でもあります。

この記念貨幣は金融機関において額面価格で引換えが行われました。大会直前に設けられた引換日には全国各地で早朝から長い行列ができたことが新聞にも大きく取り上げられています。

それから56年を経て2020年に再び東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が決定され、同大会の成功に向けた機運を醸成するため、同大会を記念する貨幣を発行することが政府において決められました。財務省はその決定を

◆ 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会記念貨幣

● 図柄

	表面	裏面
東京オリンピック競技大会		
	オリンピック旗と桜とイペー・アマレーロ	東京2020オリンピック競技大会エンブレム

TOKYO 2020 OFFICIAL LICENSED PRODUCT ©Tokyo 2020 ©IOC

	表面	裏面
東京パラリンピック競技大会		
	パラリンピック旗と桜とイペー・アマレーロ	東京2020パラリンピック競技大会エンブレム

TOKYO 2020 OFFICIAL LICENSED PRODUCT ©Tokyo 2020 ©IPC

● 内容

額面	1,000円
素材	銀
品位	純銀
量目	31.1グラム
直径	40ミリメートル
彩色	<東京オリンピック競技大会> 白色、黒色、青色、青紫色、ピンク色、赤色、黄土色、黄色、黄緑色及び緑色 <東京パラリンピック競技大会> 白色、青色、青紫色、ピンク色、赤色、黄土色、黄色、黄緑色及び緑色
その他の特徴	斜めギザ等
発行枚数	各5万枚
商品発送予定時期	平成28年12月頃から
販売価格	9,500円

受けて記念貨幣の発行について検討を始めています。

今夏に開催されたリオデジャネイロでのオリンピック・パラリンピック競技大会それぞれの閉会式終盤に、次期開催都市にオリンピック旗・パラリンピック旗を引き継ぐフラッグハンドオーバーセレモニーが行われて、リオ市のパエス市長から東京都の小池百合子都知事へとフラッグが引き継がれました。財務省は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会記念貨幣の第一弾として、その開催都市の引継ぎを題材とした記念貨幣、いわゆる「ハンドオーバーコイン」を日本で初めて発行することとし、その図柄等について発表しました。詳細はP3の図のとおりです。

今回の記念貨幣の特徴は、国内では初めて表面と裏面に色彩を施した、両面カラーコインとなっているところです。この記念貨幣の表面にはオリンピックとパラリンピックのそれぞれの大会旗を、日本を代表する桜とブラジルを代表するイ

ペー・アマレーロや世界地図などとともに構成したデザインとすることで、リオから東京への開催都市の引継ぎが表現されています。また、裏面には東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会それぞれの大会エンブレムが描かれています。

額面価格はどちらも1,000円ですが、貨幣の製造に要する費用が額面価格を上回る、いわゆるプレミアム記念貨幣（P8参照）であることから、販売価格は9,500円となっています。

財務省は、今後も2020年の大会開催に向けたイベント等をとらえて東京オリンピック・パラリンピック競技大会記念貨幣を複数種類発行する方針のようです。長野オリンピック冬季競技大会の開催時には1次から3次まで3回にわたり9種類の記念貨幣が発行されました。今回は56年ぶりの東京大会の開催ということで、それを上回る可能性もあります。

世界中の収集家からも高い評価

日本の記念貨幣は昭和39年以降 53年間で36テーマを発行

国民がみんなで祝いたい行事 などを記念して発行

日本の記念貨幣の発行は昭和39年の東京オリンピックの開催を機に始まったことはすでに紹介しましたが、以降、さまざまな機会に発行され、現在までに36テーマの貨幣が発行されています。

記念貨幣は、国民がこぞってお祝いする、または記念すべき事柄を対象に発行されます。発行を決定するためには、以前は法律の施行が必要でし

たが、昭和63年の「通貨の単位及び貨幣の発行等に関する法律」施行以降は、閣議において決定が行われています。

これまで発行された記念貨幣をタイプ別に分類すると図のような4類型になります。

皇室の御慶事に関するものとしては、天皇陛下御即位記念貨幣（平成2年）や皇太子殿下御成婚記念貨幣（平成5年）、天皇陛下御在位20年記念貨幣（平成21年）などが発行されています。

● 記念貨幣の4つのタイプ

1	2
皇室の御慶事に関するもの	国際的行事に関するもの
3	4
国家の主権・制度・機構に関するもの	国家的プロジェクトに関するもの

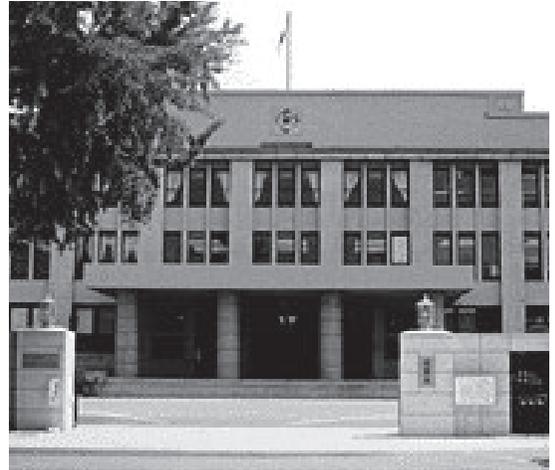
国際的行事に関するものとしては、東京（昭和39年）・札幌（昭和47年）・長野（平成9・10年）のオリンピック記念貨幣や2002年ワールドカップサッカー大会記念貨幣など、国家の主権・制度・機構に関するものでは、内閣制度創始100周年記念貨幣（昭和60年）や裁判所制度100周年記念貨幣（平成2年）、議会開設100周年記念貨幣（平成2年）、平成20年から約8年間にわたって発行された地方自治法施行60周年記念貨幣など、国家的プロジェクトに関するものでは、青函トンネル開通記念貨幣（昭和63年）や新幹線鉄道開業50周年記念貨幣（平成26～28年）、東日本大震災復興事業記念貨幣（平成27年）などがあります（P6参照）。

昭和61年、54年ぶりの 金貨幣を発行

昭和61年には54年ぶりの金貨幣も発行されました。昭和天皇は昭和60年7月13日をもって御在世日数が確認できる歴代天皇の中で最長寿を迎えました。御在位60年とその御長寿をお祝いするために東京両国国技館で「天皇陛下御在位60年記念式典」が開催されました。こうした御慶事事業の一環として記念金貨幣の発行が決定されたのです。日本で金貨幣が発行されるのは昭和7年の20円金貨幣以来のことでした。

平成9年、日本初の記念貨幣 シリーズ発行、プレミアム貨幣販売

平成10年2月に長野で開催された第18回オリンピック冬季競技大会に先立ち、これを記念し



大阪市北区にある造幣局本局。明治44年に火力発電所として建てられたレンガ造りの建物を利用した博物館も併設されている。

て、金貨幣、銀貨幣、白銅貨幣が平成9年2月から3次にわたってシリーズ発行されました。

発行枚数は各次1万円金貨幣5.5万枚、5,000円銀貨幣500万枚、500円白銅貨幣2,000万枚で、このうち1万円金貨幣は、製造費用が額面価格を上回る、いわゆるプレミアム記念貨幣として販売されました。記念貨幣のシリーズ発行、プレミアム記念貨幣の販売ともに日本初でした。

このように記念貨幣は、昭和39年の東京オリンピック以降、その時々日本の姿を刻み、日本の歩みとともに発行されてきました。記念貨幣を収集することで、改めて日本の歴史を感じるができるかもしれません。

また、地方自治法施行60周年記念貨幣のように、日本各地の美しい風物や重要なイベントを織り込んだ記念貨幣や葛飾北斎、横山大観などの芸術家の絵画がモチーフとなった記念貨幣などもあります。

今回の取材を機会に、初めて記念貨幣の奥深さに触れましたが、日本の記念貨幣は造幣局の加工技術が優れていて美麗であるということやデザインが素晴らしいということだけでなく、その奥深さを知れば知るほどおもしろく、集めてみたいと思わせる様々な魅力で輝いていました。

これまでに発行された主な記念貨幣

記念行事	年銘	形式	図柄（表）	図柄（裏）	直径(mm) 量目(g)
東京オリンピック記念 1,000円銀貨幣	昭和39年		日本の象徴である富士山と国花の桜をあしらう	桜と五輪マークに算用数字1000	35.0 20.0
東京オリンピック記念 100円銀貨幣	昭和39年		聖火台の上に五輪マークを配す	太陽に算用数字100を重ねる	22.6 4.8
札幌オリンピック記念 100円白銅貨幣	昭和47年		聖火台	五輪マーク、雪紋（初雪）	30.0 12.0
内閣制度創始 100周年記念 500円白銅貨幣	昭和60年		内閣総理大臣官邸	内閣の印	30.0 13.0
青函トンネル開通記念 500円白銅貨幣	昭和63年		青函トンネルと津軽海峡を表わす波とかもめ	北海道と本州の地図	30.0 13.0
裁判所制度 100周年記念 5,000円銀貨幣	平成2年		大法廷	大はんごん草（キク科）と職員マーク：花言葉で公正、正義を表す	30.0 15.0
議会開設100周年記念 5,000円銀貨幣	平成2年		国会議事堂	有翼の獅子	30.0 15.0

記念行事	年銘	形式	図柄 (表)	図柄 (裏)	直径(mm) 量目(g)
天皇陛下御即位記念 100,000円金貨幣	平成 2年		鳳凰と瑞雲	菊の御紋と 桐と唐草	33.0 30.0
皇太子殿下御成婚記念 50,000円金貨幣	平成 5年		瑞鳥の鶴2羽と 波	菊の御紋章と 皇太子殿下の お印の梓	27.0 18.0
長野オリンピック 冬季競技大会記念 10,000円金貨幣 (第1次)	平成 9年		ジャンプ	りんどう (長野県の県花)	26.0 15.6
2002FIFA ワールドカップ™記念 10,000円金貨幣	平成 14年		選手と ストライプ	エンブレムと 桜と虹とボール	26.0 15.6
天皇陛下 御在位20年記念 10,000円金貨幣	平成 21年		鳳凰と瑞雲と 皇居・二重橋	菊花紋章	28.0 20.0
新幹線鉄道開業 50周年記念 1,000円銀貨幣	平成 26年		0系新幹線と 富士山と桜	0系新幹線 (虹色発色)	40.0 31.1
東日本大震災 復興事業記念 10,000円金貨幣 (第1次)	平成 27年		復興特別区域の 地図とハト	奇跡の一本松と ハト	26.0 15.6
地方自治法施行 60周年記念 1,000円銀貨幣 (東京都)	平成 28年		東京タワーと レインボー ブリッジと ユリカモメ	雪月花	40.0 31.1

記念貨幣Q&A

Q そもそも記念貨幣って何？

A 国民がこぞってお祝い、記念すべき事柄を対象として発行される貨幣を記念貨幣といいます。

記念貨幣を発行するかどうかは、その事柄が記念貨幣の発行に相応しいかどうかを見極めて閣議で決定されます。

記念貨幣も通常貨幣同様に法定通貨として発行されるため、額面1,000円であれば1,000円として買い物などで利用することができます。

また、発行枚数が限定されているので、年を経るほど希少性が増し、コイン収集家の間などでは人気が高まっているものもあります。

Q プレミアム記念貨幣って何？

A 素材に貴金属を含む記念貨幣のうち製造に要する費用が、その額面価格を超えるものがあります。これをプレミアム記念貨幣と呼んでいます。

例えば、長野オリンピックの開催時には1万円金貨が日本初のプレミアム貨幣として発行されましたが、これは製造原価が額面価格の1万円を上回っていたため、3万8,000円（第1次）で販売されました。

Q 引換型記念貨幣と販売型記念貨幣って何？

A 記念貨幣には市中の金融機関において額面価格で引換えができる「引換型記念貨幣」と造幣局からの通信販売により購入できる「販売型記念貨幣」があります。

上記のプレミアム記念貨幣については、販売価

格が額面価格を上回り、金融機関において額面同額での引換えができないことから、造幣局から販売することとしています。

Q プルーフ貨幣って何？

A プルーフ貨幣は、17世紀の英国で贈答用または試験用に作られたものが起源とされています。その後、時代を経て現在では収集用の美しい貨幣がプルーフ貨幣と呼ばれています。

日本のプルーフ貨幣は表面に鏡のような光沢を持たせ、模様面をつや消しにして浮き出させています。プルーフ貨幣は、限定発行のものが多く宝飾用としても世界中で楽しまれています。

享保の改革300年2016プルーフ貨幣セット～貨幣の改鋳～



1716年(享保元年)に徳川吉宗が江戸幕府8代目将軍に就任し、享保の改革と呼ばれる幕政改革を始めて以来、今年で300年の節目を迎えることを記念して販売する貨幣セット。

Q 都道府県ごとに記念貨幣があるってホント？

A 平成20年度から地方自治法施行60周年を記念して記念貨幣が発行されています。それぞれの都道府県を代表する自然や文化遺産などがデザインされています。

地方自治法は地方自治体の組織や運営方法について定めたもので昭和22年に施行されました。

平成19年に施行60周年を迎えたことから、地域活性化の願いを込めて、平成20年から約8年間にわたり、47都道府県ごとに記念貨幣を発行することとされ、それぞれ1,000円銀貨幣と500円バイカラー・クラッド貨幣の2種類が発行されました。バイカラー・クラッド貨幣とは、異なる種類の金属板をサンドイッチ状に挟み込む「クラッド」技術でできた円板を、それとは異なる金属でできたリングの中にはめ合わせる「バイカラー」技術と組み合わせたものです。

平成28年銘地方自治法施行60周年記念500円記念貨幣セット(2点セット)



地方自治法施行60周年記念500円バイカラー・クラッド貨幣(福島県、東京都)を各1枚、計2枚をカバーケースに収納したものです。

Q 貨幣セットとはどんなもの？

A その年に製造した貨幣のうち、一度も使用していない貨幣と製造年を表す年銘板をセットにしてケースに収納し、昭和44年から海外向けに、昭和50年からは国内向けに貨幣セットとして販売しています。

現在では、記念貨幣を組み込んだ「記念貨幣セット」、現行貨幣を鏡面仕上げした「プルーフ貨幣セット」、ケースにメッセージが書ける「記念日セット」、最近では「享保の改革300年2016プルーフ貨幣セット～貨幣の改铸～」や「桜の通り抜け2016プルーフ貨幣セット」などさまざまなセットがあります(一部年銘板のないセットもあります)。

平成28年銘記念日貨幣セット



赤ちゃんの誕生や結婚祝いなどの各種慶事の贈り物をテーマとして販売している記念日貨幣セット。

造幣局のオンラインショップで記念貨幣を販売中

造幣局のオンラインショップでは、記念貨幣や貨幣セットが販売されています。会員登録をすると、サイトに掲載されている貨幣セットなどを購入することができます。また、新しい貨幣セットの販売などの情報をメールでお知らせするメールマガジンを受け取りたい場合には造幣局のホームページから登録可能です。

→ <https://www.mint.go.jp/inquiry/reg-newsletter>
(造幣局ホームページアドレス)



<https://www3.mint.go.jp>
(造幣局オンラインショップアドレス)